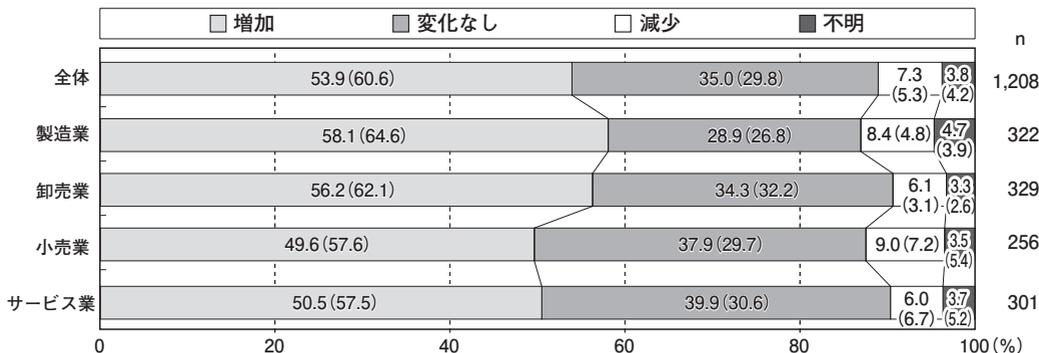


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した2023年（令和5年）8月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体でみると、「増加」が53.9%（前回調査60.6%）と最も高く、「変化なし」が35.0%（同29.8%）、「減少」が7.3%（同5.3%）の順で続いた。

図表11 コストの変化（前年同月比）



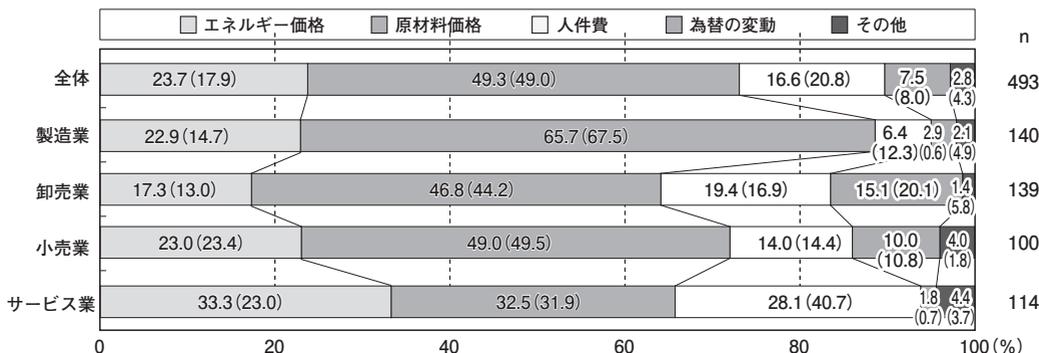
注）無回答を除き集計。（ ）内は前回調査（令和5年8月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体でみると、「原材料価格」が49.3%（前回調査49.0%）と最も高く、「エネルギー価格」が23.7%（同17.9%）、「人件費」が16.6%（同20.8%）、「為替の変動」が7.5%（同8.0%）の順で続いた。

業種別にみると、製造業は「原材料価格」が65.7%（同67.5%）と最も高い。他の業種に比べて卸売業は「為替の変動」が15.1%（同20.1%）と高く、サービス業は「エネルギー価格」の33.3%（同23.0%）と「人件費」の28.1%（同40.7%）が高い。

図表12 コスト増加の最大の要因



注）コストの変化（前年同月比）（図表11）で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。

（ ）内は前回調査（令和5年8月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。